

日本技術士会神奈川県支部 年次大会特別講演会(第145回CPD講座)報告書 役員会用

開催日	2025年7月31日(木)
開催時間	15:00～16:50
名称	カーボンニュートラルに貢献するエネルギー関連技術
主催	(公社)日本技術士会神奈川県支部
開催場所	波止場会館 4 階 大会議室 および Web 中継
行事内容	講演会
参加人数	107名(会場63名+Web 44名)

内容

I 講演概要

【講演】カーボンニュートラルに貢献するエネルギー関連技術

講師:岩城 智香子氏

株式会社東芝 総合研究所 首席技監

一般社団法人日本機械学会 会長／博士(工学)

2025年2月に第7次エネルギー基本計画が閣議決定されました。本計画は、電力需要の増加やウクライナ危機を背景に、第6次エネルギー基本計画に比べてエネルギー安全保障により重きを置いたものとなっている。2040年度の総発電電力量に占める割合の見通しは、脱炭素電源である原子力を約2割、再生可能エネルギーを約4～5割としています。2023年度の実績はそれぞれ8.5%、22.9%であり、いずれも大幅な拡大が必要である。

よって、原子力は既設発電所の安全性確保を前提とした再稼働および新增設が必要となり、新たな安全メカニズムを導入した次世代革新炉の研究開発が進められている。また、変動性のある再生可能エネルギーの大量導入においては、需給バランス維持のための調整力が必要となり、エネルギー貯蔵技術の開発が進められている。本講演では、カーボンニュートラル実現のためのこれらのエネルギー関連技術開発の状況について解説された。



講師: 岩城 智香子 様



会場風景(会場参加が 60 名を超え、ほぼ満席でした)